

皆さんの意見を
反映させる
市議会を
傍聴しましょう

ひの 市議会だより

市議会だより 第71号
昭和58年11月23日発行
発行日 野市議会
電話 (0425) 85-1111
内線 445-8

第3回定例会

昭和五十七年度決算を認定

一般・特別会計補正予算など議案三六件議決

昭和五十八年第三回定例会は九月十六日に開かれ十月八日まで、二百三十四回にわたる会期を終了閉会した。今定例会では、昭和五十七年度一般会計、特別会計決算の認定、五十八年度一般会計補正予算(第三号)八億二千六百七十七万円の追加補正など市長提出議案三件、議員提出(意見書)十一件を議決した。

市民から提出された請願・陳情(六頁)七件を採択三三件を閉会中の継続審査とした。一般質問(三十五頁)は九月二十日から二十六日まで、二名の議員から四二件の質問が行われた。

本会議の経過

第三回定例会は、九月十六日に招集され、午前十時十四分開会された。はじめに会議録署名議員に奥住芳雄、高橋通夫両議員を指名、続いて会期を九月十六日から十月七日までと決定した。

市長からは、行政報告がなされ、各議員から活発な質疑が展開された。議会からは、諸般の報告が述べられた。十六日、建設委員長から請願審査報告があり、請願三件を採択、昭和五十七年度一般会計、特別会計決算審査のための特別



五重の塔と菊まつり

昭和五十八年度日野市一般会計補正予算(第三号)は、九月十九日の本会議において各担当常任委員会に分割付託し、審査が行われ十月十七日の本会議で可決された。

歳入 歳入の主なもの、都支出金一四八万六千円、一般寄付金一億六九〇万円、都市計画事業特別会計からの繰入金一億三〇〇万円、前年度繰越金五億三三二万五千円など総額八億一六七万七千円を追加補正した。

歳出 表彰記念式典会場設営委託料

予算から見た
主な施策
郷土資料館(仮称)用地
神明上に決まる

主要議案と内容
高齢者福祉手当の
条例を一部改正

意見書・決議
今定例会では、十一件の意見書・決議案が提出され、十月八日の本会議で十件を可決、一件否決されました。

教育委員
を再任



出席しらべ
九月定例会
(定数三〇名)

第一日	9月16日	三〇名
第二日	9月19日	三〇名
第三日	9月20日	三〇名
第四日	9月21日	二九名
第五日	9月22日	三〇名
第六日	9月26日	二九名
第七日	10月7日	二九名
第八日	10月8日	二九名

特別会計
補正予算

【衛生費】	補正総額八六七万三千円計上
●火葬場修繕料(二〇二万一千円)	補正総額九六万三千円計上
●国民健康保険特別会計補正予算(第一号)	補正総額九六万三千円計上
●市立総合病院事業会計補正予算(第一号)	補正総額九〇万円計上
●電算機導入に伴う証書、用紙類の印刷費(一〇〇万円)	補正総額九〇万円計上
●老人保健特別会計補正予算(第一号)	補正総額七〇万五千円計上

特別会計
補正予算

【土木費】	補正総額四〇五万八千円計上
●自転車条例周知用ポスター印刷費(一八万円)	補正総額一億三三〇万六千円計上
●下水道事業特別会計補正予算(第一号)	補正総額一億六四六万三千円計上
●下水道事業特別会計補正予算(第二号)	補正総額一億六四六万三千円計上
●下水道事業特別会計補正予算(第三号)	補正総額一億六四六万三千円計上

特別会計
補正予算

【教育費】	補正総額七三三万五千円計上
●日野市郷土資料館(仮称)用地購入費(二億八千九百九十九円)	補正総額七三三万五千円計上
●秋川処理区認可設計委託料(二八〇〇万円)	補正総額七三三万五千円計上
●浅川処理区(万願寺区画整理)地内工事費(五〇〇〇万円)	補正総額七三三万五千円計上
●暖気用フローア設置、塩素滅菌機設置工事費(七八万七千五百円)	補正総額七三三万五千円計上

特別会計
補正予算

【民生費】	補正総額二二万四千円計上
●重度身体障害者移送委託料(二〇〇万円)	補正総額二二万四千円計上
●心身障害者共同作業所補助金(二〇〇万円)	補正総額二二万四千円計上
●身障者福祉手当(市制度)	補正総額二二万四千円計上
●扶助費(八二万五千円)	補正総額二二万四千円計上
●老人医療費通知及びレセプト審査事務委託料(二〇五万九千円)	補正総額二二万四千円計上
●至誠デイケアセンター運営費補助金(二四七万六千円)	補正総額二二万四千円計上
●老人憩の家新築工事費(八〇〇万円)	補正総額二二万四千円計上

可決
●都立高校の新設促進に関する決議
●大韓航空機撃墜事件に関する意見書
●健康保険制度改善に対する意見書(反対、新社会、無党派一人)

昭和57年度一般会計決算 総括意見 (要旨)

昭和五十七年度一般会計決算(収入済額二五億三九七五万七千三百三十三円、支出済額一四億五億九千二百四十八万八千二百〇二円)の審査特別委員会は、一四名構成で九月三十日に開かれ十月四日閉会した。委員長に、ノ瀬隆議員、副委員長に馬場弘融議員を互選三日間にわたり慎重審査が行われた。

十月八日の本会議においては各会派代表から総括意見が述べられ、採決の結果、多数で認定した。

無会派

(一人反対)

決算の認定に反対の立場から意見を申しあげた。

まず、歳入について、収入の性質と支出の用途が非常に大差である。その中でも特に道路橋梁費と都市計画費が考えられる。この決算

新政会

(賛成)

新政会を代表して、昭和五十七年度一般会計決算認定に賛成の立場で意見を述べた。

自治省の指導、実例等による決算審査は、出納計算の正確性、予算が目的どおり執行され



改修された根川

は賛成できかねる。

また、歳出についても違法建築の取り壊し金二〇〇万円を税金から支払ったことや、五十六年度決算で指摘された事項が五十七年度でも直されていない点がある。監査委員にも再度指摘されており、真剣に直す努力がなされていない。しかも税金が残り十億を貯蓄している。もっと道路を直し、下水道をつくる

ているか、違法行為、不当支出等がないかどうか審査せよというところであり、これらを踏まえ

一、出納計算はまず正確であること認定する。
二、違法行為、不当支出はまずないと認定する。
三、予算どおりに執行されているかどうかについては、次の点が指摘される。

(イ)収入・支出済額において、合計繰越額が一〇億八千七百〇万円あり、その内支出差七億五千万円については検討を要する。また、人前がらみの未執行額三億二〇〇万円はやむを得ないとはいえない。その道路関係費、公債費、清掃費等に行政努力が足りないといふ指摘がある。

(ロ)幼児教育センターについては一億六千三〇〇万円計上されているが、全然執行されず三月補正で全額削減されている。これは重大な行政の問題であり、非常に不適切な処置である。この点を強く指摘する。

(ハ)来年度予算編成の参考に願いたい。次の点を提言する。自己財源が豊富な市でありながら、公債費比率が高いので、起債には十分留意すること。基金の効率的な運用をすること。消費的経費が非常に多く投資的経費が少ないので、この点を強く指摘したい。

低成長時代に入って、税収もいままでのような伸びにはいかない。特に法人税は不安定要素を抱えている。よって、行政需要も非常に複雑になってきており、これに対応するには、徹底的な合理化、効率的な財政運営が望まれる。以上で意見とする。

日本共産党

(賛成)

日本共産党市議団を代表して昭和五十七年度一般会計決算を認定する立場から意見を申し上げたい。

五十七年度は、臨調答申が出され政府は、保育所、小学校整備、消防、防災施設など、住民生活に大きな影響を与える必要

を強調した。そして福祉教育の切り下げ、有料化を一層押し進めてきた年でもある。

五十七年度の施政方針の表明の中で、政府が一般歳出の削減を図り、防衛予算関係の大幅な伸びに、行政改革の名のもとに福祉を初め、弱者に対するしわ寄せを容認できないと述べ、五十年にわたり希望を述べたい。

一、幼児教育研究センターの予算が、カットされた事業を縮小しても内容の充実した研究をしていってほしい。

二、身障福祉施設の建設については、日野市で初めての本格的な施設であり、十分障害者団体と話し合い、障害者の希望を取り入れた施設を建設していただきたい。

三、身障者が利用できる中小企業事業資金融資あっせん、五十七年度は一件である。もっと利用率を高める努力をしていただきたい。

四、交通安全対策費で不用額が出ており、危険な箇所もたくさん見受けられる中で、これらの予算を使い、市民の安全のために取り組んでいただきたい。

公明党

(賛成)

公明党を代表して昭和五十七年度一般会計決算を認定する立場から意見を申し上げたい。

昭和五十七年度は、根川改修事業、桑園跡地に建設を予定している仮称仲田公園の実施設計、黒川公園、湧水池の整備、駅周辺の自転車対策等がある。清掃関係では、浄化汚泥処理施設の建設及び三



建築が進む仲田小学校

次処理施設の建設。小中学校の関係では、第七小学校、大坂上中学校の増築、並びに給食室の新築、仮称第二小学校用地の買収、市民会館の実施設計。福祉関係では、障害者の福祉施設及び老人憩いの家の計画。さらに、防火対策の強化を図るための耐震用貯水槽の整備、防災無線の設置などが挙げられる。

厳しい経済情勢の中で市民生活を守る立場で市民本位の市政推進のために成果を上げたものと評価する。今後さらに市民要望にこたえるため何点か意見を述べたい。

一、歳入面では、さらに市財政の確立と財源確保に一層の努力を要する。

二、当初予算で計上された未執行額が、増額補正しながら未執行で、減額補正したものが指摘されている。今後は予算計上並びに執行のあり方等担当の一層の研鑽を願いたい。

三、予算の安易な流用は避けたい。監査では流用事務手続きにつきおぼろげに行なわれていると表現されているが、この点を厳密に受けとめていただきたい。

四、デイケア事業の実施に見るよ、今後とも高齢化社会に向けての積極的施策と都市基盤整備、下水道事業計画の財政裏づけの見直し作業を積極的に進め、調和のある財政運営を進めていただきたい。

五、市内事業所の勤労者のための施策と、近代農業に対する施策は、近代的な施設が不足している。市内の道路整備、根川改修側溝整備などの工事が進められているが、緑と清流とほぼ遠い個所が数見られるが、もう少し力を注いでいただきたい。

六、消防の設置を市の要綱に従って開始していただき、防災日野市として安心して居住できるように配慮願いたい。

第四回臨時会 八月十九日

市税条例の一部を改正

昭和五十八年第四回臨時会は、結果、一億二〇〇万円を代表者、株式会社清水組が落札、八月十九日に開かれた。

議案四件、内三件を総務委員会の審査に付した。午後六時二分閉会した。

銀行法施行令の一部改正があり、これに伴い地方税法の施行令と規則を改正する条例。結果、一億二〇〇万円を代表者、吉原建設株式会社が落札、工期は、昭和五十九年三月三十一日まで。

第五回臨時会 十月二十一日

市民会館建設の契約が締結される

契約が締結される

昭和五十八年第五回臨時会は十月二十一日に開かれた。

議案四件を総務委員会の審査に付した。午後四時三十分閉会した。

結果、一億八〇〇万円を代表者、株式会社大林組が落札、工期は、昭和六十年三月三十一日まで。

一般質問要旨

各定例会では市政全般について一般質問が行われますが、今回は21名の議員から41件にわたり質問がありました

古賀 俊昭

自由民主党

① 四〇〇〇万円退職金制度
② は、何時になったら是正
するの

問 退職金問題は納税者意識として公平で不平等や、むだのない役所の行政を求めるとして、九月議会で改正案の提出がない職員組合と交渉中と聞くが話し合いが難航した場合、改正計画を撤回するよう働きかけがないと思うがどうか。算出基準、今後の具体策等について問う。

答 市長

高額の退職金については深刻に受けとめているが、該当者が余りないので対応が十分であった。一般的な状況に早く是正したい。組合との交渉の中で合意が好ましいと考えているが政治判断は責任において行いたい。公表は当然であり社会情勢の変化による自らの背景は承知している。

② 有給夏休み(ヤミ夏休み)の再検討を

問 昭和五十四年以降、夏期休暇を十日としているが、有給夏休みは自治省通達の通り年次の有給休暇の中でのべきものではないのか。

答 市長

休みを与へ過ぎていると感じている。日数も短縮する方向で検討をする。

飯山 茂

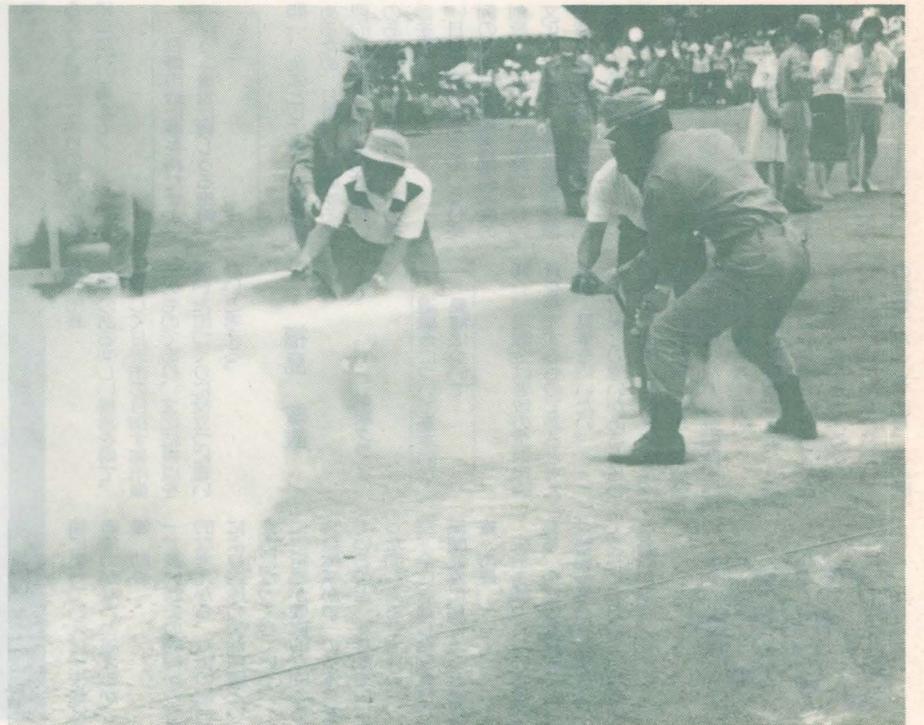
市民クラブ

スポーツ施設の充実に

問 スポーツ人口から見て施設が不足している。谷地川の河川敷の利用計画、日野桑園跡地に野球場を設置、体育協会への加盟団体の状況等について問う。

答 企画課長

谷地川河川敷の利用は八王子市との行政界の解決と築堤工事



防災訓練 (第3小学校)

藤林理一郎

新国会

① 生活環境整備について

問 日野駅周辺に三ヶ所の駐輪場が設置されている。その利用状況と管理状況について、駅西側へ公衆便所の設置要望および路線のり面の緑化対策等について、どう進んでいるのか。

答 建設部長

三ヶ所の駐輪場面積は、二八八九平方メートルで、利用状況として六〇〇台程度の駐輪車あり。駅の東側は利用台数に比して施設が小さいので今後増設を考えている。大衆便所については検討したいと思う。路線のり面の緑化については八王子保線区に申し入れ条件の問題等を協議中である。

② 市内循環バス運行計画について

問 市の考えている市内循環バスの路線は納得できない。今後変更の考えはあるか。また中央線の架線に伴う関連道路一・三共に、浄化意識の普及のため、清流ホスターの募集、各家庭における合成洗剤の追放、家庭用廃油の回収運動等、市民運動の展開も期待している。

答 財政課長

下水道工全体計画が、四九四億円であり、市費三〇〇億円が必要と考えられる。二〇〇年間で工事完成する場合は毎年一五七〇名、ソフトボールチームは七五チーム一五〇〇人、少年野球チームは八五チーム一四二五名の会員である。

③ 障害者対策について

問 障害者福祉は福祉施設の総合化システムを図るのが望ましい。福祉センター構想の内容、進展状況その他について問う。

答 福祉部長

身障者施設の内容について、諸団体の代表者と合意をもち計画の中であるが、要望もすべてを施設の中に織り込むことは困難であり通所の精神者授産施設あるいは身障者の訓練施設を考

竹ノ上武俊

日本共産党

市民会館完成後の使用料
① について、いままら市民
参加で検討せよ

問 市民会館の特徴を、どうとらえようとしているのか。

答 建設部長

三ヶ所の駐輪場面積は、二八八九平方メートルで、利用状況として六〇〇台程度の駐輪車あり。駅の東側は利用台数に比して施設が小さいので今後増設を考えている。大衆便所については検討したいと思う。路線のり面の緑化については八王子保線区に申し入れ条件の問題等を協議中である。

② 市職員採用の年齢制限は緩和すべきではないか

問 採用基準年齢を越えた者の採用要望の有無。

答 総務部長

一、採用基準年齢を越えた者の採用要望の有無。
二、年齢制限の他市との比較。
三、採用の場合の評価の基準。

③ 京王バスの乗客サービス改善策を促進させよ

問 日曜、祭日等、程久保地区の交通の混雑は、はなはだしくバス待ちの時間も長い、バス停にバスを置くべきであり、また高幡駅前には、屋根かけも必要と思うので、会社当局に交渉すべきである。

答 企画課長

屋根かけについては、交渉の経過もあるが消防上の観点から困難性を指摘された。その他停留所の待ち合いのいす等については要望したい。

パートで働く市民の課税
④ 最低額を年収二〇〇万
で引き上げる世論づくり

問 パートで働く人が増えているが、実態を承知しているのか。また現在の税負担の状況を考え、どのような考え方をもちているのか。

答 生活環境部長

国勢調査による就業者数から推定して七千人強と推定している。調査等の検討をしたい。今後、調査等の検討をしたい。

旗野 行雄

新国会

日野市財政を

問 日野市の財政状況は類似団体に比較して税収も多く豊かなわりに公債比率及び実質債務残高比率が高すぎる。支出を市民一人当たり比較してみると都下二六市の平均値より低い。目的別及び性別に収入、支出を検

問 一、神明上都市下水路の工事の進捗状況と今後の見通し

二、中間地点の見通しと排水管の埋設の考え方は。
三、(イ)暫定措置として、四ツ谷下の二本の排水、下水管を二種の遊水池と見立て、利用できないものか。(ロ)桑園跡地の一角を遊水池としたらどうか。(四)ツ

問 一、新坂下児童遊園の危険箇所の応急措置について

二、市内全域の子供広場の予算要求に対する対応は。
答 福祉部長
一、破損箇所については予算措置をして、至急現状復旧をする。
答 財政課長
二、児童施設も多数あるので、一

谷水を中心とした西側で接続して流水を流すことはできないか。

問 市内の水路の汚染はひどい緑と清流をとり戻すスローガンを配布したが時の経過と共に利用されていない。浄化槽の調査にあわせて、清流フィルターを再度配布する考えがあるか、河川浄化の手段として、長野市佐久市、建設省が実施している方法もある。清流条例も制定した以上行政の責任において、河川浄化を実施すべきではないか。また下水道の普及は各市に比べて遅れているので積極的に取り組まれない、なお同時に補助金の確保に努力すべきと思う。

古谷 太郎

無党派

市内河川の浄化対策について

問 市内の水路の汚染はひどい緑と清流をとり戻すスローガンを配布したが時の経過と共に利用されていない。浄化槽の調査にあわせて、清流フィルターを再度配布する考えがあるか、河川浄化の手段として、長野市佐久市、建設省が実施している方法もある。清流条例も制定した以上行政の責任において、河川浄化を実施すべきではないか。また下水道の普及は各市に比べて遅れているので積極的に取り組まれない、なお同時に補助金の確保に努力すべきと思う。

谷 長一

無党派

① 郷土資料館建設について

問 歴史的に重要な資料を収集や展示をしたり、学術的研究をする資料館は、より完全なものにするため、行政の慎重、かつ特段の努力が必要と考え次の点を伺いたい。

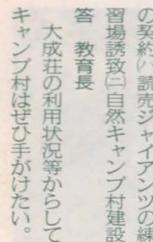
一、建設予定地と面積、取得金額、さらに発掘調査費は価格

質問要旨

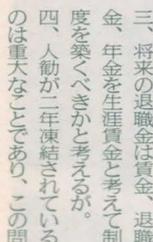
今回は21名の議員から41件にわたり質問がありました



三頁から続く
 一、除かれたりするか。
 二、場所の選定の考えは、施設の概要等検討はされたか。
 三、常設展示室、企画展示室等の考えはあるか。
 答 教育次長
 場所が神明上四一六一で面積一五七平米です。取得価格は未確定、調査費は除くよう要望している。
 答 市長
 資料館の必要性については関係者から要望されており、行舎にも近い第三築地跡地を国から下すことが決定した、長い歴史のなかの生活文化に伴う資料等を収蔵、展示をしたい、併せて用途を分け、資料館の機能に役立てたい。



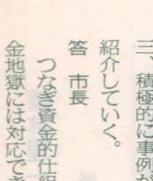
① 受託事業の現状について
 問一、市の受託の範囲及び事業運営の基本的な姿勢について。
 二、市水道から都水道へ一元化された経緯について。
 三、水質検査方法は、汚染の例は過去になかったか。
 四、巨大地震が襲った場合の市民の飲料水確保は大丈夫か。
 五、都の水料金値上げについての方針。
 答 水道部長
 一、水道施設その他の水道事業に必要な資産の管理及び運営に関する事務であり、具体的には小規模工事、給水装置、給水料金徴収がある。
 二、市内十四ヶ所で定期実施しており、毎日監視体制を取っている。適さなかった例はない。
 三、程久保給水所もでき、充分確保できる。
 答 市長
 二、既設井戸を増やすのは不可能で、料金も都の方が安く、安定供給を考慮と協議し移管した。
 三、徹底的な合理化対策が行われ企業性を高めることも必然と考える。ただ、サービス低下にならないように注意する。



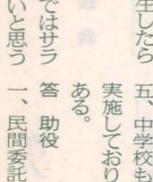
② 退職金の現状について
 問一、退職金は老後の生活保障のため、日野市の位置する地理的環境を考慮し文化的な側面のある町を「目指して、次の提言をする。
 ①日野市独自の町づくり条例の制定(生活環境奨励金制度の創設)
 ②電柱のない街路づくり
 ③文化のために、公共施設等建設ときに事業費の1%程度の支出を投入すること。
 二、個々の公共施設について提案する。
 ①市民会館の壁に市民の焼いたレンガを使う(オーケストラとの契約)
 ②読売ジャイアンツの練習場誘致(自然キャンプ村建設)
 答 教育長
 大成荘の利用状況等からしてキャンプ村はぜひ手がけたい。



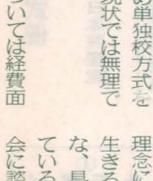
③ 退職金について基本的な見解について
 問一、退職金は老後の生活保障費を補完するものであると考えるが、見解を伺いたい。
 二、官民との違いがあると言われるが、民間は高度経済成長期に行なわれた賃上げが、退職金に即ち返らない賃金制度を確立した結果と考えるか。
 三、将来の退職金は賞金、退職金を生利賃金と考えると制度を築くべきかと考えるか。
 四、人勤が二年凍結されているのは重大なことであり、この問題に限って言えば、市長は統治者能力がないと思えるか。
 答 助役
 一、長い歴史の経緯から慰労金的な考えから、戦後の組合運動により老後の生活保障という考え方が出てきている。
 二、組織が硬直的な面もあり、賃金体系が単一の基本給を取っている。定年制を設けなかった面もあると考える。
 三、全体を通じた制度になるし民間並み化して行くと思える。
 答 市長
 統治者能力については残念である。企業の利潤配分とは違い公務員の場合は源泉徴収によって支払われるので、首長としてどうも感がある。



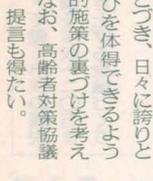
④ サラ金相談から市民を救済するために
 問一、サラ金相談の専門窓口を設けること。
 二、新聞折込みへの自主規制への呼びかけをする。
 三、広報紙に被害の事例、解決方法を掲載し、被害を最小限に食い止めるようにする。
 四、負債整理資金制度を新設すること。
 五、暴力的取り立て禁止や高金利の規制などを国に働きかけること。
 答 福祉部長
 一、現状では非常に困難であるが、現状に合わせた対応をしたい。
 二、制度は困難とは思われるが十分検討する。
 答 企画財政部長
 二、指導監督と協力して、対応していく。
 三、積極的な事例が発生したら紹介していく。
 答 市長
 つなぎ資金的仕組みではサラ金地獄には対応できないと思う



⑤ 日野市の行政について
 問 行革は国民的な声となっている現在、日野市に必要ない行政のあり方について問う。
 一、業務の一部を民間委託にする考えは。
 二、特殊勤務手当が実情に合わないと思われぬか。
 三、学校開放で夜間照明を増設する考えはあるか。
 四、し尿、ごみ処理費のコストが他市より高いと思われぬか。
 五、学校給食をセンター方式にできないか。
 答 総務部長
 二、過去の経緯はそれなりであったと思うが、社会情勢の推移で現状にそなわねどもあり、これから検討を加えたい。
 答 清掃部長
 四、人件費、処分地等の関係もあるが、計算基礎を同じにすれば高くないと理解している。
 答 教育長
 三、年次計画で中学校区単位に一機ぐらい出来るような方向で努力したい。



⑥ 高齢者の生きがいづくりに努力せよ
 問 高齢者社会の対応が、これからの自治体の最重要課題かと思ふ。そこで、高齢者の方々が喜んで暮らせる生きがい対策について、どのような考え方を取り組みをされるのか伺いたい。
 答 市長
 高齢者社会を具体的に相対した、日野市老人憲章に定めた理念にもつき、日々誇りと生きる喜びを体得できるように、具体的施策の裏づけを考えている。なお、高齢者対策協議会に諮問、提言も得たい。



⑦ 児童の育成に努力せよ
 問 子供達を心身すくやかに成長させるため、社会教育の充実を願う。社会教育の充実を願う。社会教育活動推進者保険に加入する。
 二、宿泊設備を有するボランティアセンターを建築する考えは。
 三、子供会に対する補助金を大幅にふやす。
 四、ボランティアに対する表彰制度を確立する。
 五、子供広場を確保する。
 答 教育長
 一、東京都子供会安全会に加入して対応している。
 三、今後の問題として検討してゆく。
 答 市長
 二、独立したセンターをつくる前段として、小中学校の空教室などを利用できないか内部検討したい。
 四、表彰については別枠で仕組みを考えてみる。
 五、子供広場についても鋭意努力したい。



⑧ 固定資産税の不公平減免を撤廃せよ
 問一、医療の公益性についての見解はどうか。
 二、医療施設の減免措置は、公平な負担の理念からすれば、公平ではないか。
 三、優遇措置は一定の役割を果たしたと見なすか。
 四、医師会未加入医療施設を対象にしている例はないか。
 五、二市のなかで、最近減免措置を廃止した市があるか。
 答 市民部長
 一、社会保障制度の一環として、公共性は高い。
 二、通達の要素に沿っており、不公平ではない。
 三、再考する段階に立ち至らないが、今は十分検討する。
 四、未加入の医療施設は当市にはない。
 五、現時点で廃止した市はない。
 答 市長
 所得制限については改めて検討する。



⑨ 児童の判定基準について
 問一、判定基準になる資料は、二、判定の順序はどのように行なわれているか。
 答 教育長
 一、判定基準になる資料は、二、児童保育所入所状況はらつきがある。
 二、児童保育所の増築の考え方は。
 三、十七の児童クラブの受け入れ態勢は大丈夫か。
 四、来年度の受け入れ態勢はどうか。
 五、児童クラブの増築の考え方は。
 答 福祉部長
 二、児童の減少傾向のなかで、若手の保育児を抱えているが、大分減少してきているとされている。
 三、児童数の減少で体系的には落ちついた状況で迎えられると思ふが、予測はしたい。
 答 市長
 一、市長会等の共同意見として要請運動をしている。
 五、状況を十分見きわめる時間をいただきたい。



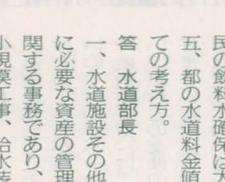
⑩ 各種委員会、審議会に女性を積極的に起用せよ
 問 各種の行政のなかで、女性を積極的に起用せよ。
 答 市長
 一、法令に基づくと、就学相談表、整理表または診察記録、二、広報で知らせ、申し込みを受け付け、相談員、専門医と父母との面談で決定している。



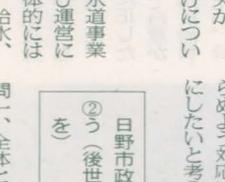
⑪ 学童クラブの充実について
 問 働く母親たちが増加傾向にあるなか、確固たる学童保育制度が必要となる。
 一、日野市では国にどのような制度を求めているか。
 二、学童保育所入所状況はらつきがあるか。
 三、十七の学童クラブの受け入れ態勢は大丈夫か。
 四、来年度の受け入れ態勢はどうか。
 五、児童クラブの増築の考え方は。
 答 福祉部長
 二、児童の減少傾向のなかで、若手の保育児を抱えているが、大分減少してきているとされている。
 三、児童数の減少で体系的には落ちついた状況で迎えられると思ふが、予測はしたい。
 答 市長
 一、市長会等の共同意見として要請運動をしている。
 五、状況を十分見きわめる時間をいただきたい。



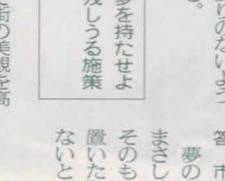
⑫ 馬場 弘融 新 政 会
 問一、市役所の敷地内にある水路敷の整備を市はどう考えているか。
 答 市長
 三頁から続く
 三、拡張については附近の市民の所有権を侵害しないこと。
 答 建設部長
 一、工場長を窓口として鋭意交渉中であり、解決の方向に進みつつある。
 二、体育館の東側の狭い道路は企業から用地を提供願ひ、四・五米に改修する。従って、側溝も整備もされ排水も解決する。
 三、住民の財産保護の点から境界査定の問題があり、現在東京都並びに国と話を詰めている段階である。



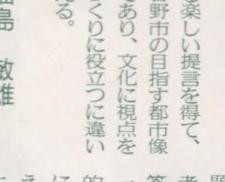
⑬ 日野市に夢を持たせよ
 ②(後世に残しうる施策を)
 問一、全体として街の美観を高めるため、日野市の位置する地理的環境を考慮し文化的な側面のある町を「目指して、次の提言をする。
 ①日野市独自の町づくり条例の制定(生活環境奨励金制度の創設)
 ②電柱のない街路づくり
 ③文化のために、公共施設等建設ときに事業費の1%程度の支出を投入すること。
 二、個々の公共施設について提案する。
 ①市民会館の壁に市民の焼いたレンガを使う(オーケストラとの契約)
 ②読売ジャイアンツの練習場誘致(自然キャンプ村建設)
 答 教育長
 大成荘の利用状況等からしてキャンプ村はぜひ手がけたい。



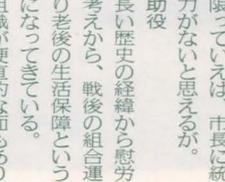
⑭ 退職金について基本的な見解について
 問一、退職金は老後の生活保障費を補完するものであると考えるが、見解を伺いたい。
 二、官民との違いがあると言われるが、民間は高度経済成長期に行なわれた賃上げが、退職金に即ち返らない賃金制度を確立した結果と考えるか。
 三、将来の退職金は賞金、退職金を生利賃金と考えると制度を築くべきかと考えるか。
 四、人勤が二年凍結されているのは重大なことであり、この問題に限って言えば、市長は統治者能力がないと思えるか。
 答 助役
 一、長い歴史の経緯から慰労金的な考えから、戦後の組合運動により老後の生活保障という考え方が出てきている。
 二、組織が硬直的な面もあり、賃金体系が単一の基本給を取っている。定年制を設けなかった面もあると考える。
 三、全体を通じた制度になるし民間並み化して行くと思える。
 答 市長
 統治者能力については残念である。企業の利潤配分とは違い公務員の場合は源泉徴収によって支払われるので、首長としてどうも感がある。



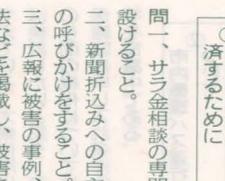
⑮ サラ金相談から市民を救済するために
 問一、サラ金相談の専門窓口を設けること。
 二、新聞折込みへの自主規制への呼びかけをする。
 三、広報紙に被害の事例、解決方法を掲載し、被害を最小限に食い止めるようにする。
 四、負債整理資金制度を新設すること。
 五、暴力的取り立て禁止や高金利の規制などを国に働きかけること。
 答 福祉部長
 一、現状では非常に困難であるが、現状に合わせた対応をしたい。
 二、制度は困難とは思われるが十分検討する。
 答 企画財政部長
 二、指導監督と協力して、対応していく。
 三、積極的な事例が発生したら紹介していく。
 答 市長
 つなぎ資金的仕組みではサラ金地獄には対応できないと思う



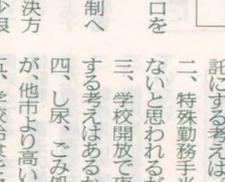
⑯ 日野市の行政について
 問 行革は国民的な声となっている現在、日野市に必要ない行政のあり方について問う。
 一、業務の一部を民間委託にする考えは。
 二、特殊勤務手当が実情に合わないと思われぬか。
 三、学校開放で夜間照明を増設する考えはあるか。
 四、し尿、ごみ処理費のコストが他市より高いと思われぬか。
 五、学校給食をセンター方式にできないか。
 答 総務部長
 二、過去の経緯はそれなりであったと思うが、社会情勢の推移で現状にそなわねどもあり、これから検討を加えたい。
 答 清掃部長
 四、人件費、処分地等の関係もあるが、計算基礎を同じにすれば高くないと理解している。
 答 教育長
 三、年次計画で中学校区単位に一機ぐらい出来るような方向で努力したい。



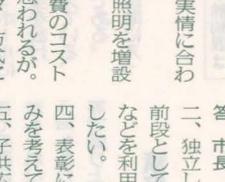
⑰ 高齢者の生きがいづくりに努力せよ
 問 高齢者社会の対応が、これからの自治体の最重要課題かと思ふ。そこで、高齢者の方々が喜んで暮らせる生きがい対策について、どのような考え方を取り組みをされるのか伺いたい。
 答 市長
 高齢者社会を具体的に相対した、日野市老人憲章に定めた理念にもつき、日々誇りと生きる喜びを体得できるように、具体的施策の裏づけを考えている。なお、高齢者対策協議会に諮問、提言も得たい。



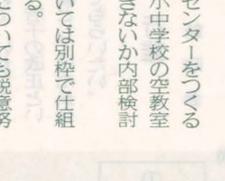
⑱ 児童の育成に努力せよ
 問 子供達を心身すくやかに成長させるため、社会教育の充実を願う。社会教育活動推進者保険に加入する。
 二、宿泊設備を有するボランティアセンターを建築する考えは。
 三、子供会に対する補助金を大幅にふやす。
 四、ボランティアに対する表彰制度を確立する。
 五、子供広場を確保する。
 答 教育長
 一、東京都子供会安全会に加入して対応している。
 三、今後の問題として検討してゆく。
 答 市長
 二、独立したセンターをつくる前段として、小中学校の空教室などを利用できないか内部検討したい。
 四、表彰については別枠で仕組みを考えてみる。
 五、子供広場についても鋭意努力したい。



⑲ 固定資産税の不公平減免を撤廃せよ
 問一、医療の公益性についての見解はどうか。
 二、医療施設の減免措置は、公平な負担の理念からすれば、公平ではないか。
 三、優遇措置は一定の役割を果たしたと見なすか。
 四、医師会未加入医療施設を対象にしている例はないか。
 五、二市のなかで、最近減免措置を廃止した市があるか。
 答 市民部長
 一、社会保障制度の一環として、公共性は高い。
 二、通達の要素に沿っており、不公平ではない。
 三、再考する段階に立ち至らないが、今は十分検討する。
 四、未加入の医療施設は当市にはない。
 五、現時点で廃止した市はない。
 答 市長
 所得制限については改めて検討する。



⑳ 児童の判定基準について
 問一、判定基準になる資料は、二、判定の順序はどのように行なわれているか。
 答 教育長
 一、判定基準になる資料は、二、児童保育所入所状況はらつきがある。
 二、児童保育所の増築の考え方は。
 三、十七の児童クラブの受け入れ態勢は大丈夫か。
 四、来年度の受け入れ態勢はどうか。
 五、児童クラブの増築の考え方は。
 答 福祉部長
 二、児童の減少傾向のなかで、若手の保育児を抱えているが、大分減少してきているとされている。
 三、児童数の減少で体系的には落ちついた状況で迎えられると思ふが、予測はしたい。
 答 市長
 一、市長会等の共同意見として要請運動をしている。
 五、状況を十分見きわめる時間をいただきたい。



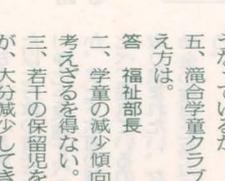
㉑ 各種委員会、審議会に女性を積極的に起用せよ
 問 各種の行政のなかで、女性を積極的に起用せよ。
 答 市長
 一、法令に基づくと、就学相談表、整理表または診察記録、二、広報で知らせ、申し込みを受け付け、相談員、専門医と父母との面談で決定している。



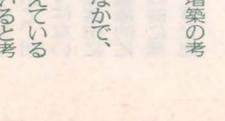
㉒ 学童クラブの充実について
 問 働く母親たちが増加傾向にあるなか、確固たる学童保育制度が必要となる。
 一、日野市では国にどのような制度を求めているか。
 二、学童保育所入所状況はらつきがあるか。
 三、十七の学童クラブの受け入れ態勢は大丈夫か。
 四、来年度の受け入れ態勢はどうか。
 五、児童クラブの増築の考え方は。
 答 福祉部長
 二、児童の減少傾向のなかで、若手の保育児を抱えているが、大分減少してきているとされている。
 三、児童数の減少で体系的には落ちついた状況で迎えられると思ふが、予測はしたい。
 答 市長
 一、市長会等の共同意見として要請運動をしている。
 五、状況を十分見きわめる時間をいただきたい。



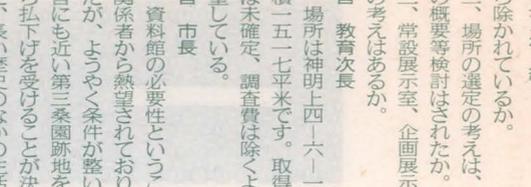
① 市民サービス向上、職員負担軽減のための電算化O/A化は積極的にすすめて
 問 市民サービス向上、また職員の負担軽減の面から住民基本台帳等の電算化、O/A化についてどう考えるか。
 答 企画財政部副主幹
 現在税務等十七業務につき委託しており、一定の効果を挙げている。行政情報を正確、迅速に把握して、有機的に結びつける必要な情報を提供するため、電算導入は積極的に推進してゆく。またO/A化の問題も電算利用と併せて総合的に判断して考えた。
 答 助役
 電算の計画は直営で答申が出た訳ですが、機械、職員等の関係から委託の方向で、現在組合とも協議のうえ詰めている。



② 多摩平第一幼稚園の二年保育の実施について
 問一、来年度二年保育は実施可能かどうか。
 二、多摩平団地の西部の方に幼稚園を建てる考えはあるか。
 答 教育長
 一、五歳児募集を優先しますのことで、その結果を見てからでないと、四歳児保育については、現状でできない。
 二、私立幼稚園協会とも十分協議しながら、旭が丘地区に新しい幼稚園をつくり、二年保育の問題も解決していくべく話を詰めている状況である。



③ 子供の育成に努力せよ
 問 子供達を心身すくやかに成長させるため、社会教育の充実を願う。社会教育活動推進者保険に加入する。
 二、宿泊設備を有するボランティアセンターを建築する考えは。
 三、子供会に対する補助金を大幅にふやす。
 四、ボランティアに対する表彰制度を確立する。
 五、子供広場を確保する。
 答 教育長
 一、東京都子供会安全会に加入して対応している。
 三、今後の問題として検討してゆく。
 答 市長
 二、独立したセンターをつくる前段として、小中学校の空教室などを利用できないか内部検討したい。
 四、表彰については別枠で仕組みを考えてみる。
 五、子供広場についても鋭意努力したい。



地元産野菜の即売 (日野農協)

市民自身が自分を守るための広報活動はしたい。
 ② 多摩平第一幼稚園の二年保育の実施について
 問一、来年度二年保育は実施可能かどうか。
 二、多摩平団地の西部の方に幼稚園を建てる考えはあるか。
 答 教育長
 一、五歳児募集を優先しますのことで、その結果を見てからでないと、四歳児保育については、現状でできない。
 二、私立幼稚園協会とも十分協議しながら、旭が丘地区に新しい幼稚園をつくり、二年保育の問題も解決していくべく話を詰めている状況である。



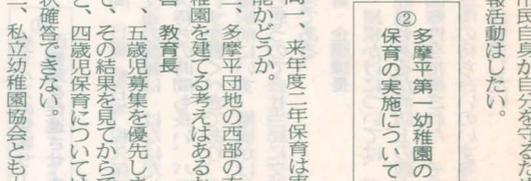
地元産野菜の即売 (日野農協)

④ サラ金相談から市民を救済するために
 問一、サラ金相談の専門窓口を設けること。
 二、新聞折込みへの自主規制への呼びかけをする。
 三、広報紙に被害の事例、解決方法を掲載し、被害を最小限に食い止めるようにする。
 四、負債整理資金制度を新設すること。
 五、暴力的取り立て禁止や高金利の規制などを国に働きかけること。
 答 福祉部長
 一、現状では非常に困難であるが、現状に合わせた対応をしたい。
 二、制度は困難とは思われるが十分検討する。
 答 企画財政部長
 二、指導監督と協力して、対応していく。
 三、積極的な事例が発生したら紹介していく。
 答 市長
 つなぎ資金的仕組みではサラ金地獄には対応できないと思う



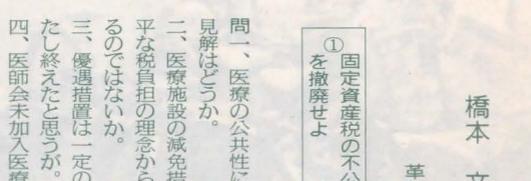
地元産野菜の即売 (日野農協)

⑤ 日野市の行政について
 問 行革は国民的な声となっている現在、日野市に必要ない行政のあり方について問う。
 一、業務の一部を民間委託にする考えは。
 二、特殊勤務手当が実情に合わないと思われぬか。
 三、学校開放で夜間照明を増設する考えはあるか。
 四、し尿、ごみ処理費のコストが他市より高いと思われぬか。
 五、学校給食をセンター方式にできないか。
 答 総務部長
 二、過去の経緯はそれなりであったと思うが、社会情勢の推移で現状にそなわねどもあり、これから検討を加えたい。
 答 清掃部長
 四、人件費、処分地等の関係もあるが、計算基礎を同じにすれば高くないと理解している。
 答 教育長
 三、年次計画で中学校区単位に一機ぐらい出来るような方向で努力したい。



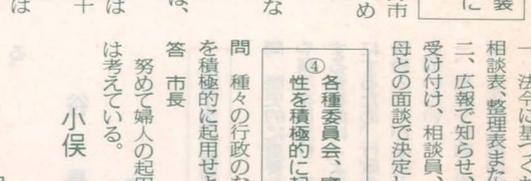
地元産野菜の即売 (日野農協)

⑥ 高齢者の生きがいづくりに努力せよ
 問 高齢者社会の対応が、これからの自治体の最重要課題かと思ふ。そこで、高齢者の方々が喜んで暮らせる生きがい対策について、どのような考え方を取り組みをされるのか伺いたい。
 答 市長
 高齢者社会を具体的に相対した、日野市老人憲章に定めた理念にもつき、日々誇りと生きる喜びを体得できるように、具体的施策の裏づけを考えている。なお、高齢者対策協議会に諮問、提言も得たい。



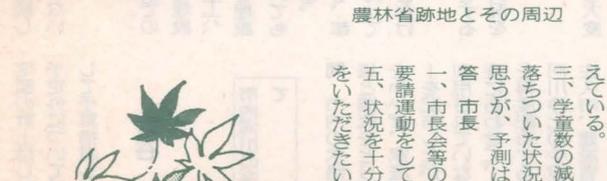
地元産野菜の即売 (日野農協)

⑦ 固定資産税の不公平減免を撤廃せよ
 問一、医療の公益性についての見解はどうか。
 二、医療施設の減免措置は、公平な負担の理念からすれば、公平ではないか。
 三、優遇措置は一定の役割を果たしたと見なすか。
 四、医師会未加入医療施設を対象にしている例はないか。
 五、二市のなかで、最近減免措置を廃止した市があるか。
 答 市民部長
 一、社会保障制度の一環として、公共性は高い。
 二、通達の要素に沿っており、不公平ではない。
 三、再考する段階に立ち至らないが、今は十分検討する。
 四、未加入の医療施設は当市にはない。
 五、現時点で廃止した市はない。
 答 市長
 所得制限については改めて検討する。



地元産野菜の即売 (日野農協)

⑧ 児童の育成に努力せよ
 問 子供達を心身すくやかに成長させるため、社会教育の充実を願う。社会教育活動推進者保険に加入する。
 二、宿泊設備を有するボランティアセンターを建築する考えは。
 三、子供会に対する補助金を大幅にふやす。
 四、ボランティアに対する表彰制度を確立する。
 五、子供広場を確保する。
 答 教育長
 一、東京都子供会安全会に加入して対応している。
 三、今後の問題として検討してゆく。
 答 市長
 二、独立したセンターをつくる前段として、小中学校の空教室などを利用できないか内部検討したい。
 四、表彰については別枠で仕組みを考えてみる。
 五、子供広場についても鋭意努力したい。



農林省跡地とその周辺



般

各定例会では市政全般について一般質問が行われますが

整備したい。

答 福祉部長
五、遊び場、公園等も調査し、今後予算化に努力したい。

答 市民部長
六、現在の人員と機材及び取り扱い事務の内容との関係から直ちに増加は不可能であるが、今後十分検討すべきことと考える。

② 請願・陳情を先取りしての行政の推進

問 他市に比べて道路側溝、排水、交通安全等の日常生活の身近な請願等が多い。市民相談も入っている。請願、要望の出る以前に積極的に対応すべきである。また採択された請願等の解決の取り組み方に検討を加えたい。

答 市長
御指摘の趣旨は十分尊重して今後取り組んでいきたい。

③ 高齢化社会に向けての野市の対応策について

答 市長
住民健康は本来、職場で受けているので該当しない在宅者を対象に考えている。PRの仕方場所の設定に問題があれば考えたい。生きがいの基本に医療の前に保健、健康保持を考え、このため関連する健康増進のための諸策を進めたい。

米沢 照男
日本共産党

① 和泉の開発、建築規制緩和

問 都市開発の促進策として国は第一に土地の高度利用を促進するため地域指定等高度利用に導く方向へ一般規制緩和。第二に民間建設活動を促す。第三に民間建設活動を促す。再開発が計画される区域も規制緩和し事業意欲の高揚と事業の円滑な推進を図る。第三に大都市と既成市街地も再開発と道路整備が一体的に行われる方策を講じ、再開発事業制度も民間活用が見地から改善拡充を行い事業の推進に必要な税制上の特別措置を講ずる。第四に中高層建

中山 基昭 市民クラブ

① 東平山、西平山地域の生活課題への対応と促進

問 東平山、西平山地区は生活環境の整備、都市施設が遅れているが、次の点について問う。

一、住宅公団による整備計画とその展望。

二、滝合小、第二小、旭が丘小学校の対策と緩和策の考え。

三、生活道路の整備と交通安全確保の対策について。

四、家庭排水の対策について。

五、公園、遊び場、地区センター等の設置について。

六、動く窓口車、連絡バス等による行政サービスの充実策について。

答 都市整備部長
一、公団と市で協議しながら計画を進めている段階である。

答 教育次長
二、各小学校区、共に生徒数の減少傾向にあり現在の施設に、まに合っていると考えている。学校の樹木の手入れは今後考えていく。

答 建設部長
三、道路の整備は前向きで取り組んでいきたい。

四、道路の側溝整備と併せて逐次

① 地震対策について

問 一、防災地区で避難場所の指定はあるが知らない市民、または地区によっては避難路不備、不適当な箇所があると思ふ。

二、地震災害で意外に建造物内に家具類の倒壊による事故がある。家具による取付はどうか。

答 市長
地震災害の発生は憂えられていて、自治体行政として緊急時の避難行動、心構え用意等などを呼びかけているが機会を捕えて自主的な避難行動、対応が可能ないようにして欲しい。

答 福祉部長
ねたきり老人、あるいは身障者世帯への家具転倒防止策は検討してみたい。

② 市民の健康対策の今後について

問 市民健康診断で受診者の少ない原因に広報的に問題がないか。また実施会場、時間、対象者等の検討も必要と思ふ。更に健康維持増進のための施設設置も考えるべきではないか。



親子で体操教室 (南平体育館)

夏井 明男 公明党

① 高齢者社会を迎えるに当たって

問 高齢者社会を迎えるに当たっていろいろな施策が当然で、特微として都市の基盤整備が大きい将来に予想される。一定の財政フレームの中でどのように

② みなみヶ丘住宅の空地の除草について

問 みなみヶ丘の空地の除草を企業者に実施させるよう市民から訴えがあった事は承知と思うが、その後どう対応しているのか伺いたい。

答 生活環境部長
六月十五日、除草を実施するよう連絡をしたところ、八月下旬に履行する旨の回答であったので警告書を送付した。更に草刈を委託している子会社にも電話連絡をし、除草の日程表の提出を指示し回答を待っている状況にある。

③ 潤徳小北浅川架橋について

問 橋は人間の生活に非常に大きな変化をもたらすものであり身障者の福祉、母子の福祉等いろいろ福祉にもあるが、健康な人、車に乗って家庭や社会のために、感は、直接、間接的に市のために活躍している人のためにも利益を図るのが大きな福祉ではないかと考え、橋を作る場合は一般の人や車も通れるものでなければならぬと思ふが市長の考えを問う。

答 市長
浅川計画で河川の周辺、堤防式等を活用し日野市民生活の触れ合いの場、潤いの場としたい

④ 潤徳小北浅川架橋について

問 潤徳小北浅川架橋について

一ノ瀬 隆

革新クラブ

たばこの害から健康を守る

問 喫煙者のたばこの有害は言うまでもないが、たばこの煙による他人に及ぼす被害と不快感は大い。そこで次の点を問う。

一、市民の喫煙状況。

二、未成年者の喫煙の現状。

三、たばこの害を、どうは握しているか。

四、喫煙しない人への影響を、どう考えているか。

五、たばこの害の啓もう指導はどう行なわれているか。

六、学校教師の喫煙の状況。

七、市立病院での喫煙の配慮。

八、広報の活用等、今後の市民への啓もうPR等どう考えるか。

九、市役所、学校、病院等、市

高橋 通夫

新社会

潤徳小北浅川架橋について

問 橋は人間の生活に非常に大きな変化をもたらすものであり身障者の福祉、母子の福祉等いろいろ福祉にもあるが、健康な人、車に乗って家庭や社会のために、感は、直接、間接的に市のために活躍している人のためにも利益を図るのが大きな福祉ではないかと考え、橋を作る場合は一般の人や車も通れるものでなければならぬと思ふが市長の考えを問う。

答 市長
浅川計画で河川の周辺、堤防式等を活用し日野市民生活の触れ合いの場、潤いの場としたい

一般質問は発言順で記載してあります。



進む浸水対策 (落川)

閉会中の議会のうごき

- 六月二十八日 議会報編集委員会
- 六月二十九日 全国市議会議長会定期総会(日比谷公会堂)
- 七月一日 東京都交通安全共済組合議会(自治会館)
- 七月五日 全国自治体病院経営都市議会協議会(日本都市センター)
- 七月六日 三多摩上下水及び道路建設促進協議会正副委員長会議(東久留米市)
- 七月八日 東京都三多摩地域廃棄物広域処分組合議会(自治会館)
- 七月十一日 東京都河川改修促進連盟(新宿区)
- 七月十三日 東京都廃棄物処分地管理組合議会(自治会館)
- 七月十五日 東京都建設対策特別委員会行政視察(厚木市伊勢原市)
- 七月十五日 議会報編集委員会
- 七月十六日 東京都廃棄物処分地管理組合議会(自治会館)
- 同日、東京都十一市競輪事業組合議会(多摩川会館)
- 七月十八日 議会運営委員会行政視察(鶴岡市)
- 七月二十日 岸和田市議会議員行政視察(岸和田市)
- 七月二十二日 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第二委員会正副委員長会議(日野市)
- 七月二十五日 建設委員会
- 七月二十七日 厚生委員会行政視察(立川市)
- 七月二十八日 南多摩ニュータウン協議会(町田市日本館)
- 七月二十九日 東京都三多摩地域廃棄物広域処分組合議会(三鷹市)
- 八月一日 農林水産省跡地利用対策特別委員会
- 八月二日 市民会館建設対策特別委員会
- 八月三日 高速自動車道通過都市議会協議会(本市市センター)
- 八月四日 五日 東京都市議会議長会及び総会(箱根町)
- 八月八日 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第一委員会正副委員長会議(小平市)
- 八月九日 東京都河川改修促進連盟総会及び促進大会(日本青年館)
- 八月十日 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第二委員会(自治会館)
- 同日、多摩川架橋及び関連道路整備促進協議会総会(日本倶楽部)
- 八月十一日 相武広域都市議会議長連絡会(多摩市)
- 八月十二日 農林水産省跡地利用対策特別委員会
- 八月十五日 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第三委員会(自治会館)
- 八月十九日 議会運営委員会
- 同日、第四回臨時会
- 八月二十二日 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第一委員会(自治会館)
- 八月二十三日 自由民主党・無党派系一人行政視察(駒川市、斜里町、網走市)
- 八月二十六日 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第二委員会(建設省、大蔵省、都庁)
- 八月三十日 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第一委員会(要書提出)(都庁)
- 九月一日 東京都市議会議長会(自治会館)
- 九月六日 文教委員会
- 九月七日 観音寺市議会議長行政視察(来庁)
- 九月九日 広島県府中市議会議長行政視察(来庁)
- 九月十日 代表者会議
- 九月十三日 議会運営委員会

特別委員会審査

中間報告(要旨)

市民会館建設対策特別委員会

昭和五十七年三月二十六日、前委員会の後を引き継ぎ、五月十八日、五月二十九日の委員会まで十回の委員会を開催し、また市民会館の先進市としての茅ヶ崎、沼島、調布、厚木、伊勢原市等を視察し、審議する上で参考になりました。

さらに市内の文化団体の方とも懇談をする中で、審議内容にも充実したものが見られました。

各委員から次のような活発な意見も出されました。建設の位置、駐車場の確保、また、大ホ



